

第2編 共通工

第1章	土	工.....	2 - 1 - 2 - 1	
第2章	共	通	工.....	2 - 2 - 18 - 1
第4章	コンクリート工.....	2 - 4 - 1 - 1		

第1章 土工

2 土工

3-5 路床盛土・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 - 1 - 2 - 1

第2章 共通工

18 目地材等設置工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 - 2 - 18 - 1

第4章 コンクリート工

1 コンクリート工

3-1 コンクリート練工(手練り)・・・・・・・・・・・・ 2 - 4 - 1 - 1

3 溶接金網設置工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 - 4 - 3 - 1

第1章 土工

2 土工

3 - 5 路床盛土

1. 適用範囲

本資料は、土工（路床盛土）に盛土、路床入替材を含めた単価表を用意するものであり、土工（路床盛土）の適用範囲、施工パッケージについては、国土交通省土木工事標準積算基準書「-1- 土工（路床盛土）」によるものとする。

2. 盛土、路床入替材の使用量

盛土、路床入替の使用量は次式による。

$$\text{使用量 (m}^3\text{)} = \text{設計数量 (m}^3\text{)} \times (1 + K) \dots\dots \text{式3.1}$$

表2.1 ロス率(K)

盛土、路床入替材	ロス率(K)
高炉スラグ・(再生)クラッシュラン	+0.27
砂質土及び砂・レキ質土	+0.33

(注) 1. 上表以外の材料を使用する場合は、別途考慮する。

3. 単価表

路床盛土

(1 m³当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
盛土、路床入替材		m ³		式 2.1
路 床 盛 土		m ³		施工 P
諸 雑 費		式	1	
計				

第2章 共通工

1.8 目地材等設置工

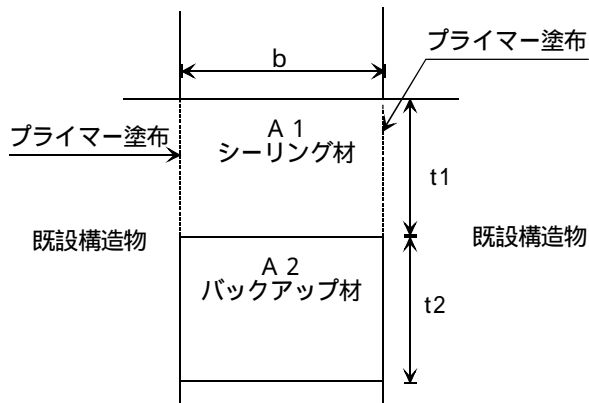
構造物等目地シール工について

1. 適用範囲

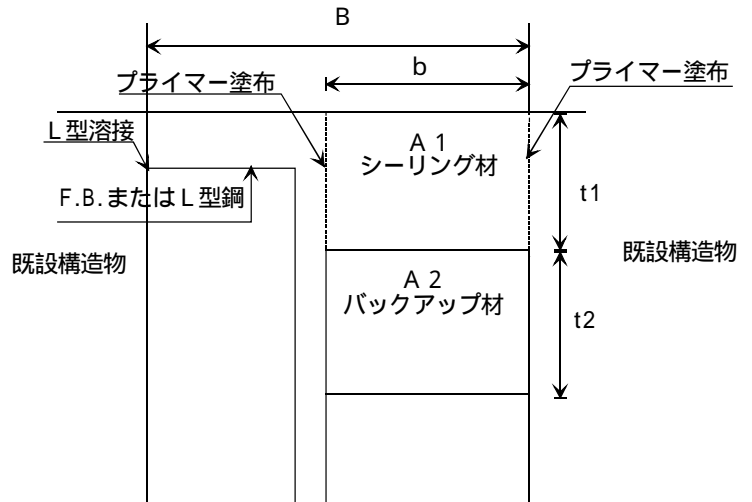
本資料は、構造物等の目地シールに適用する。

2. 標準施工断面及び構造

2-1 標準施工断面



目地幅が広い場合の改良（参考図）



2-2 標準寸法（表 1）

（1m当り）

平均施工幅	シール深さ	シール材		バックアップ材		プライマー塗布面積 A1部 (m ²)
		A1 (mm ²)	V1 (%)	深さ t2 (mm)	幅 (mm)	
b (mm)	t1 (mm)	A1 (mm ²)	V1 (%)	深さ t2 (mm)	幅 (mm)	A1部 (m ²)
10	10	55	0.055	20	20	0.02
20	10	250	0.25	30	40	0.02
30	15	480	0.48	50	60	0.03

（注）1．現場条件により、上表によりがたい場合は、別途考慮すること。

2．施工幅が広い場合は、別途考慮すること。

3. 施工歩掛

3 - 1 材料

バックアップ材

バックアップ材は、ウレタン系とする。

バックアップ材の厚みは、構造物の伸縮量を考慮する必要がある、面積幅の2倍を標準とする。

シーリング材

シーリング材は、設計図書によるものとする。

材料ロスは、18%を標準とする。

(注) 鋼・黄銅・亜鉛メッキ・クロムメッキに使用する場合は、事前確認が必要。

プライマー

プライマーの種類は、既設構造物の材質とシール材との接着性の高いものを選択する。

材料費は、諸経費に含むものとする。

3 - 2 施工歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表 - 2 施工歩掛 (10m 当り)

施工幅 (mm)	バックアップ材取付工 防水工 (人)	シール工 防水工 (人)	諸雑費 (%)
10	0.05	0.24	シール材の 10(5)%
20	0.05	0.34	シール材の 10(5)%
30	0.05	0.44	シール材の 10(5)%

(注) バックアップ材を必要としない場合、諸雑費は () 内の値を適用する。

4. 単価表

目地材等設置工 (10m 当り)

工種	細別	単位	数量
材料費		L	表 - 1 の 18% 増し
労務費	防水工	人	表 - 2
諸雑費		式	表 - 2

(注) シール工に伴う既設目地の撤去歩掛は、設置歩掛の $\frac{1}{2}$ とし、シール面の既設プライマーの除去までとする。

第4章 コンクリート工

1 コンクリート工

3 - 1 コンクリート練工（手練り）

1. 適用範囲

本資料は、手練りコンクリートの人力打設に適用するものとし、コンクリート工にコンクリート練工（手練り）を含んだ単価表を用意するものであり、コンクリート工の適用範囲、施工パッケージについては、国土交通省土木工事標準積算基準書「2-4- コンクリート工」によるものとする。また養生については一般養生を標準とする。

2. 配合表

表 2.1 標準配合表

粗骨材の最大寸法 (mm)	設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	水セメント比 (%)	単位量				骨材の容積 (m ³)		略記号
				セメント C	水 W	細骨材 S	粗骨材 G	細骨材	粗骨材	
40	18	8	60	261	159	732	1,119	0.50	0.71	18-8-40
20	18	8	60	274	167	806	1,011	0.55	0.64	18-8-20

3. 単価表

表 3.1 手練りコンクリート人力打設

(1 m³当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コ ン ク リ ー ト	コンクリート手練り 小型構造物人力打設	m ³	1	表 3.2 施工 P
諸 雑 費		式	1	
計				

表 3.2 コンクリート手練り

(1 m³当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コ ン ク リ ー ト 練 工	手練り	m ³	1	
セ メ ン ト	高炉 B	kg		表 2.1
洗 い 砂	粒径 5 ~ 0mm 細目	m ³		表 2.1 細骨材
コ ン ク リ ー ト 用 骨 材	40 ~ 20mm または 20 ~ 5mm	m ³		表 2.1 粗骨材
諸 雑 費		式	1	
計				

3 溶接金網設置工

1. 適用範囲

本資料は、薄層モルタル等のひび割れ防止を目的とする、溶接金網の設置に適用する。

2. 施工歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.1 設置歩掛 (100 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量
普通作業員		人	2
溶接金網		m ²	100

3. 単価表

溶接金網設置 (100 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員		人	2	表 2.1
溶接金網		m ²	100	表 2.1
諸雑費		式	1	
計				